

翔陽 高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 芸術 科目 美術 I

教科 芸術 科目 美術 I 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組

使用教科書：（美術 1 光村図書）

教科 芸術 の目標： 美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中での

【知識及び技能】

【思考力、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】

科目 美術 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
美術作品、造形物、自然物、生命感や心情、精神的・創造的価値等を認識し、造形的な視点について理解を深めるとともに、表現の意図に応じて材料や用具の特性を生かしたり表現方法を工夫したりするなどして、創造的に表す技能を身につける	主題を生成し、創造的に発想し、構想を練り、生涯にわたり価値意識を持って美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めることができるようにする。また、造形的な良さや美しさ、表現の意図を考え、創意工夫をし、その働きなどについて考えることができるようにする	主題を生成し、創造的に発想し、構想を練り、生涯にわたり価値意識を持って美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めることができるようにする。また、造形的な良さや美しさ、表現の意図を考え、創意工夫をし、その働きなどについて考えることができるようにする

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
		絵・彫	デ	映						
1 学 期	【絵画】 自画像	内容：自身の顔を見つめ、漫画調になることなく素直に自分自身を描く。丁寧な観察を何より大切に、てらいなく紙面に表現する。 指導事項：構図、光の捉え方、鉛筆の基本的な使用方法等 教材：鏡（一人1台）、鉛筆、半紙	○			・てらいなく自らを見つめ、丁寧な観察から得た情報を自身の心情などを踏まえ積極的に表現しようとする ・鉛筆の特性を生かし、グラデーションによる陰影表現で対象を表現することができる ・対象を丁寧に観察し、形態のバランス、光、量感などを見極め、画面上に表現することができる	○	○	○	2
	【絵画】 風景画	内容：自身の周りに広がる風景に興味を持ち、その中で気になる風景を色鉛筆によって描く。狙いにより効果的な構図等を選び、丁寧な観察を大切に、描くことを目指す。 指導事項：構図、光の捉え方、重色技法等 教材：色鉛筆、画用紙	○			・積極的により良い作品を制作しようとする ・自身の狙いに応じてより良い場所（視点）、構図を選ぶことができる ・観察や自らの感性で感じ取ったものを、使用する画材の特性を生かし、創意工夫しながら表現することができる ・丁寧でなにより強い観察より得られたものを、重色技法を用いて表現できる	○	○	○	6
	【デザイン】 レタリング・絵画技法	内容：次課題のポスター制作に必要な技法等を学ぶ。 指導内容：レタリングの効用、制作方法、絵の具による平塗り、グラデーション等の方法 教材：アクリル絵の具、画用紙、定規		○		・レタリングの持つ効用を理解し、平塗り技法を用いて美しいレタリングを制作できる ・既存の書体から変形させる際、創意工夫しながら、より意欲を持って制作に臨むことができる ・絵の具によるグラデーション表現など、デザイン技法に興味を持ち、積極的に取り組む	○	○	○	2
	【デザイン】 翔陽祭ポスター	内容：ポスターの効用を理解し、翔陽祭（文化祭）用のポスターを制作する。優秀作は学外掲示の可能性があるので、著作権についても留意しながら制作する。 指導内容：デザインの発想方法、絵の具による技法各種等 教材：アクリル絵の具、画用紙、定規、コンパスなど		○		・ポスターの効用を理解し、自校の特性とポスターという特性を踏まえた上で独自のデザインを考案できる ・絵の具の特性を踏まえた上で効果的な技法を用いて創意工夫をし、制作できる ・積極的に創意工夫をし、より良い作品を制作しようとする	○	○	○	10
2 学 期	【映像メディア】 絵コンテ	内容：映像作品における絵コンテの役割を学び、自身でも絵コンテを制作する。ストーリーの考案、カメラワーク等を意識しながら制作する。 指導内容：絵コンテについての説明 教材：プリント、画用紙、色鉛筆（一人1台端末の活用）		○	○	・映像作品における絵コンテの役割を理解し、自らも積極的に他者により良く伝達できる絵コンテを描くことができる ・映像作品になることをイメージしながら創意工夫をし、起承転結を考え、独自の作品を考えることができる	○	○	○	2
	【彫刻】 木彫	内容：立体であることを意識し、平面ではできない立体ならではの表現を目指し、デザインの考案、彫りによる彫刻を行う。彩色等、仕上げの方法も学ぶ。 指導内容：立体デザイン法、彫刻技法 教材：木彫用木箱、彫刻刀、アクリル絵の具、ニス等	○		○	・平面と立体の違い、立体の特性を理解し、自らも積極的に立体を生かした図案を考案することができる ・彫りの種類を学び、理解し、自身の作品に取り入れることができる ・彫刻刀、その他の彫刻用具の用法や危険を理解し、体得することができる	○	○	○	18
3 学 期	2学期 【絵画】 デッサン (グラデーション課題を含む)	内容：次の課題である日本画に先立って、テーマに沿って自身で選んだモチーフを描く。1年間学習した成果を踏まえ、心を込めて描くことを旨とする。 指導内容：箔張り技術、水彩画技法等 教材：日本画ボード、金箔、アクリル絵の具等	○			・鉛筆によるグラデーションを制作し、その濃淡をデッサンに生かすことができる ・自身で選んだモチーフから観察や自らの感性で感じ取ったものを、使用する画材の特性を生かし、創意工夫しながら表現することができる ・積極的により良い作品を制作しようとする	○	○	○	4
	【絵画】 日本画	内容：日本画の伝統技法である箔張りの技術を学び、テーマに沿って自身で選んだモチーフを描く。1年間学習した成果を踏まえ、心を込めて描くことを旨とする。 指導内容：箔張り技術、水彩画技法等 教材：日本画ボード、金箔、アクリル絵の具等	○			・箔張りの技術を理解し、自らもそれを行うことができる ・自身で選んだモチーフから観察や自らの感性で感じ取ったものを、使用する画材の特性を生かし、創意工夫しながら表現することができる ・積極的により良い作品を制作しようとする	○	○	○	14
									合計	58

1 学 期	<p>本的な用筆・運筆の技能、楷書の古典の線質、字形や構成を生かした表現を身に付けられる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】楷書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し、工夫できる。楷書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えられる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】自身の表現の意図に基づく表現、楷書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組む。楷書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組む。</p>				<p>いる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】楷書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し、工夫している。楷書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】自身の表現の意図に基づく表現、楷書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。楷書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。</p>				18
	<p>C 創作 表現の使い分け 鑑賞</p> <p>【知識及び技能】共通事項 ※ 用具・用材の特徴と表現効果との関わり、書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解できる。漢字の書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、古典の線質、字形や構成を生かした表現を身に付けられる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】漢字の書の古典の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成、意図に基づいた表現について構想し工夫することができる。漢字の書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えられる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】自身の表現の意図に基づく表現、漢字の書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組む。漢字の書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとできる。</p>	<p>・指導事項 古典を生かそう。書の美や風趣を味わおう。</p> <p>・教材 教科書 書道用具</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>			<p>【知識及び技能】共通事項 ※ 用具・用材の特徴と表現効果との関わり、書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。漢字の書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、古典の線質、字形や構成を生かした表現を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】漢字の書の古典の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成、意図に基づいた表現について構想し工夫している。漢字の書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】自身の表現の意図に基づく表現、漢字の書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。漢字の書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。</p>				4

	<p>D 漢字の書 行書</p> <p>【知識及び技能】行書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解できる。線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解できる。行書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、古典の線質、字形や構成を生かした表現を身に付けられる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】行書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し、工夫できる。行書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えられる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】自身の表現の意図に基づく表現、行書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組める。行書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとすることができる。</p>	<p>・指導事項 行書の特徴 「蘭亭序」「争坐位文稿」「風信帖」</p> <p>・教材 教科書 書道道具</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>				<p>【知識及び技能】共通事項 ※ 行書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。行書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、古典の線質、字形や構成を生かした表現を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】行書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し、工夫している。行書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】自身の表現の意図に基づく表現、行書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。行書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。</p>				16
2 学 期	<p>E 創作 四字熟語 鑑賞</p> <p>【知識及び技能】共通事項 ※ 用具・用材の特徴と表現効果との関わり、書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解できる。漢字の書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、古典の線質、字形や構成を生かした表現を身に付けられる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】漢字の書の古典の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成、意図に基づいた表現について構想し工夫することができる。漢字の書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えられる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】自身の表現の意図に基づく表現、漢字の書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組む。漢字の書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとできる。</p>	<p>・指導事項 古典を生かそう。書の美や風趣を味わおう。</p> <p>・教材 教科書 書道道具</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>				<p>【知識及び技能】共通事項 ※ 用具・用材の特徴と表現効果との関わり、書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。漢字の書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、古典の線質、字形や構成を生かした表現を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】漢字の書の古典の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成、意図に基づいた表現について構想し工夫している。漢字の書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】自身の表現の意図に基づく表現、漢字の書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。漢字の書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。</p>				4
	<p>F 平仮名の単体</p> <p>【知識及び技能】用具・用材の特徴と表現効果との関わり、線質や書風と用筆・運筆との関わりについて理解できる。線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本の文字と書の伝統と文化、仮名の成立、書の伝統的な鑑賞の方法や形態について理解できる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】平仮名の成立を理解し特徴を捉えられる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】自身の表現の意図に基づく表現、仮名の書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組むことができる。</p>	<p>・指導事項 仮名の成立</p> <p>・教材 教科書 書道道具</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>				<p>【知識及び技能】共通事項 ※ 用具・用材の特徴と表現効果との関わり、線質や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本の文字と書の伝統と文化、仮名の成立、書の伝統的な鑑賞の方法や形態について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】平仮名の成立を理解し特徴を捉えている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】自身の表現の意図に基づく表現、仮名の書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。</p>				8

3 学 期	G 書初め 【知識及び技能】書初めの歴史的背景を知る。 【思考力、判断力、表現力等】字形、構成等の要素と表現効果を理解できる。漢字と平仮名のバランスを考えられる。 【学びに向かう力、人間性等】明確な目標設定を立てられる。	・指導事項 書初め ・教材 教科書 書道道具 ・一人1台端末の活用 等	○	○	【知識及び技能】共通事項 ※ 書初めの歴史的背景を知る。 【思考力、判断力、表現力等】字形、構成等の要素と表現効果を理解している。漢字と平仮名のバランスを考えられる。 【学びに向かう力、人間性等】明確な目標設定を立てられる。	○	○	○	2
	H 散らし書き 【知識及び技能】用具・用材の特徴と表現効果との関わり、線質や書風と用筆・運筆との関わりについて理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】古典の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫できる。 【学びに向かう力、人間性等】自身の表現の意図に基づく表現、仮名の古典の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組むことができる。	・指導事項 全体構成 ・教材 教科書 書道道具 ・一人1台端末の活用 等		○	【知識及び技能】共通事項 ※ 用具・用材の特徴と表現効果との関わり、線質や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】古典の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】自身の表現の意図に基づく表現、仮名の古典の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	I 漢字仮名交じりの書 創作 【知識及び技能】用具・用材の特徴と表現効果との関わり、名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解できる。線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解している。目的や用途に即した効果的な表現や、漢字と仮名の調和した線質による表現の技能を身に付けられる。 【思考力、判断力、表現力等】漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現、名筆を生かした表現や現代に生きる表現について構想し工夫している。創造された作品の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えられる。 【学びに向かう力、人間性等】自身の表現の意図に基づく表現、漢字仮名交じりの書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。漢字仮名交じりの書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。	・指導事項 漢字仮名交じりの書の変遷。表現を比べよう 表現の工夫。紙面構成。 ・教材 教科書 書道道具 ・一人1台端末の活用 等	○	○	【知識及び技能】共通事項 ※ 用具・用材の特徴と表現効果との関わり、名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解している。線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解している。目的や用途に即した効果的な表現や、漢字と仮名の調和した線質による表現の技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現、名筆を生かした表現や現代に生きる表現について構想し工夫している。創造された作品の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】自身の表現の意図に基づく表現、漢字仮名交じりの書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。漢字仮名交じりの書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。	○	○	○	10
								合計	70

※各単元の「知識・技能」には、評価規準として設定はしていないが、下記〔共通事項〕も評価において配慮できるようにする。
〔共通事項〕用筆・運筆から生み出される書の表現性とその表現効果との関わりについて理解している。
・書を構成する要素について、それら相互の関連がもたらす動きと関わらせて理解している。

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 芸術(音楽) 科目 音楽 I

教科： 芸術(音楽) 科目： 音楽 I 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 6 組

使用教科書： (高校生の音楽 I)

教科 芸術(音楽) の目標：

【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 音楽 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わうことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		歌	器	創					
歌唱『校歌／翼をください』 バランスのよい姿勢、呼吸の仕方、声の響かせ方を身につけ、曲想と歌詞との関わり、旋律の特徴、言葉の抑揚を理解し、自己のイメージをもって表現を創意工夫して歌う	・ 歌うときの姿勢、呼吸の仕方、声の響かせ方に注意して、音楽表現を工夫して歌唱する ・ 歌詞の内容を深く捉え、曲想との関わりを理解し、曲のもつ雰囲気や味わいを理解して歌唱する ・ 旋律の特徴や言葉の抑揚を理解して、イメージに合った表現を工夫する	○			【知識及び技能】 ・ 曲想と歌詞との関わりについて理解している ・ 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 音色、旋律を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 正しい発声を身に付けて表現を創意工夫することに心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている	○	○	○	4
器楽《ギター》『きらきら星変奏曲』 変奏曲や編曲について理解するとともに、《きらきら星》の旋律をもとに創意工夫して器楽合奏に親しむ	・ ギターの構造や基礎的な奏法を理解する ・ ギターで音階を演奏する ・ イメージをもって《きらきら星》の変奏曲を演奏する ・ 完成した作品をグループごとに発表する		○		【知識及び技能】 ・ ギターの基礎的な知識、技能を習得する ・ 音素材、音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している ・ 創意工夫を生かした創作表現をするために必要な、音楽を形づくっている要素の働きを表現する技能を身に付けている 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 個人や器楽アンサンブルで演奏することに関心をもち、主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている	○		○	10
歌唱《西洋のうた》『Caro mio ben/サンタ・ルチア』 イタリア語の発音の特徴や、リズムと旋律との関わりを理解し、歌詞の内容にふさわしい表現を創意工夫して歌唱する	・ イタリア語の発音の特徴を理解する ・ イタリア語のアクセントやリズムと旋律との関わりを理解する ・ 歌詞の内容を理解し、表現を工夫して歌う	○			【知識及び技能】 ・ 言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している ・ 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している 【思考力、判断力、表現力等】 ・ リズム、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている 【学びに向かう力、人間性等】 ・ イタリア語による歌唱や曲の雰囲気を生かした表現に関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている	○	○	○	6
楽典『楽譜、音名、音符と休符』 音楽を味わうのに必要な要素となる楽譜や音に関する知識を理解する	・ 楽譜のしくみを理解する ・ 英・独・伊・日の音名を理解する ・ 音楽表現記号を理解する ・ 音符や休符といった、音楽を再現するために必要な知識を理解する			○	【知識及び技能】 ・ 音楽を味わうために必要な要素となる知識を身に付けている 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 知識を学ぶために積極的に取り組んでいる	○		○	4

1
学
期

	<p>鑑賞 『組曲 動物の謝肉祭/交響詩 魔法使いの弟子』</p> <p>標題音楽について理解し、情景を思い浮かべながら曲を聴き、登場する人や物、物語の各場面がどのように音楽で表現されているのか、考察する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 標題音楽について理解し、感じ取る ・ 動物の謝肉祭の楽曲を分析する ・ ゲーテの詩『魔法使いの弟子』を読み、情景を思い浮かべながら曲を聴く ・ 登場する人や物、物語のシーンがどのように音楽で表現されているかについてグループで話し合う 			<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 標題音楽について理解している ・ 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解している <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>音色、リズム、旋律、強弱を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、ともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>標題音楽に関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている</p>	○ ○ ○	2
2 学期	<p>リズム創作『クラッピング カルテット 第1番』</p> <p>手拍子やボディーパーカッション、唱歌、打楽器などを用いて音色を工夫したり、リズムパターンを即興で変化させたりして、表現を創意工夫してリズム合奏する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループを組み、『クラッピングカルテット』を演奏できるようにする ・ リズムパターンを躍動感をもって表現する ・ 手拍子やボディーパーカッション、唱歌、打楽器などを組み合わせて、リズムパターンを音色豊かに、生き生きと演奏する ・ 音の素材やリズムを工夫し、テーマを表現する 	○ ○		<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 曲想と楽器の音色やリズムとの関わりについて理解している ・ 創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、他者との調和を意識して演奏する技能を身に付け、器楽で表している <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 音色、リズム、テクスチャを知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 音色の工夫やリズムパターンの変化と曲想との関わりに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている 	○ ○ ○	8
	<p>合唱</p> <p>自分にとってイメージが湧きやすい詩、短歌、俳句などを選んで、音楽のもとになる「サウンドピース」や「メロディーの骨格」をつくり、それをもとに自己のイメージをもって創意工夫して音楽をつくる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 詩、短歌、俳句などをもとにイメージを膨らませて、音楽で表現する ・ 音素材を選び、「サウンドピース」や「メロディーの骨格」をつくる ・ 音楽を形づくっている要素を手がかりに、自分のイメージに合うように音楽をつくる 	○		<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 詩、短歌、俳句から感受したイメージに基づきながら、音素材、音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している ・ 創意工夫を生かした創作表現をするために必要な、反復、変化などの手法を活用して音楽を作る技能及び、旋律をつくったり、つくった旋律に副次的な旋律や和音などを付けたりする技能を身に付けて、創作で表現している <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて表現意図をもっている <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ イメージと音楽との関わりに関心をもち、主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている 	○ ○ ○	6
	<p>楽典『拍子、音程』</p> <p>音楽を味わうのに必要な要素となる楽譜や音に関する知識を理解する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 拍と拍子の違いを理解する ・ 音の構造を理解する ・ 音程の概念を理解する 	○		<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 音楽を味わうために必要な要素となる知識を身に付けている <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 知識を学ぶために積極的に取り組んでいる 	○ ○	10

<p>鑑賞『民族音楽』</p> <p>世界各地の民族音楽に触れ、特徴を理解し、楽器や背景などとの関わりについて理解する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 民族音楽の概要を理解する ・ 世界の民族音楽や楽器の名称とその特徴を理解する ・ 『ケチャ』の体験をする 				<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 民族音楽の概要と、世界の民族音楽や楽器の名称とその特徴を理解する <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ リズム、テクスチュア、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えとともに、音楽表現における共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさ、多様性を自ら味わって聴いている <p>○ 【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 民族音楽に関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている 	○ ○ ○	6
<p>鑑賞『日本の民謡と民俗芸能』</p> <p>日本の民謡や民族芸能の分類を知り、民謡で用いられる音階の特徴やリズム様式を理解した上で、用いられている楽器、衣装、踊りなどの特徴を理解する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本の民謡や民俗芸能の分類を学ぶ ・ 民謡のさまざまな音楽を聴く ・ 民謡の特徴について調べ、民謡で用いられる音階の特徴やリズム様式を理解する ・ 音楽だけでなく、用いられる楽器、衣装、踊りなどの特徴を理解する 				<p>○ 【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴及び文化的・歴史的背景について理解している <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 音色、リズム、旋律、強弱を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えとともに、我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 民謡の音楽や文化に関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている 	○ ○ ○	6
<p>鑑賞『音楽の聴き方』</p> <p>ボレロについて、曲の構成や工夫を知り、音楽の聴き方を学び、様々な奏者の演奏や現代音楽を聴き、表現の自由や多様さを感じる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ボレロの特徴や曲の構成や工夫を知る ・ 様々な奏者の演奏や現代音楽を聴き、表現の自由や多様さを感じる 			○	<p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 曲の構成や工夫を理解する <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ボレロや現代音楽に興味・関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている 	○ ○	2
<p>鑑賞『ポピュラー音楽』</p> <p>音楽に関する知的財産権＝著作権</p> <p>ポピュラー音楽のジャンルや、歌詞に込められたアーティストの主張を理解し、曲にふさわしい歌い方や表現を創意工夫してポピュラー音楽に親しむとともに、芸術活動を支える著作権について理解する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ポピュラー音楽のジャンルを理解する ・ ジャズの歴史を知り、鑑賞能力を高める ・ ジャズを鑑賞し、歴史やその特徴と照らし合わせながら味わう ・ 芸術活動を支える著作権について理解する 			○	<p>○ 【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景との関わり、及び様々な表現形態による歌唱表現の特徴について理解している ・ ジャズの歴史や特徴について理解している <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 音色、リズム、旋律を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌ったり演奏するかについて表現意図をもっている <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ポピュラー音楽や音楽の著作権に関心をもち、主体的・協働的に取り組もうとしている 	○ ○	4
<p>日本歌唱『夏の思い出/待ちぼうけ/この道』</p> <p>鼻濁音や、s音やt音などの子音の発音について学ぶとともに、歌詞の内容や曲の背景を理解し、強弱などに注意して曲にふさわしい表現を創意工夫して歌う</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鼻濁音やs音、t音などの子音に注意し、日本語の美しい発音に留意して歌う ・ 日本歌唱の特徴を理解する ・ 歌詞の内容を理解し、作曲者の強弱の指示をもとに、ふさわしい表現を工夫して歌う 	○			<p>○ 【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している技能 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 音色、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている歌詞の内容や曲の背景に関心をもち、主体的・協働的に歌唱している <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歌詞の内容や曲の背景に関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている 	○ ○ ○	8

3学期

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 芸術 科目 音楽Ⅱ

教科：芸術 科目：音楽Ⅱ 単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年選択者

使用教科書：（ 高校生の音楽（教育芸術社） ）

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 音楽Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わうことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		歌	器	創						
ポピュラー音楽	世界のポピュラー音楽について知り、歴史的背景を学ぶ ドイツ語、イタリア語の歌唱曲から、独特の発音や楽曲の特徴を学ぶ	○			○	意欲、関心、態度 実技	○	○	○	4
日本の音楽	邦人作曲家のポピュラー曲の歌唱経歴や楽曲に対する思いを知る	○			○	意欲、関心、態度 実技				2
ギターで弾き歌い	ギターでコードを弾けるようにする ギターを演奏しながら歌う		○			意欲、関心、態度 実技				10
楽典、ソルフェージュ	音程、リズムの基本的な知識を知る 正確な音高で歌えるようにする 簡単な音取りやリズムが分かるようにする				○	意欲、関心、態度 実技				6

1
学期

年間授業計画様式例

都立翔陽高等学校令和5年度 教科芸術 科目音楽Ⅲ 年間授業計画

教科：芸術 科目：音楽Ⅲ 単位数：2単位

対象学年組：第3学年 選択者

使用教科書：（ Joy of Music（教育芸術社） ）

使用教材：（ 教科書、楽典 ）

指導内容	科目 音楽Ⅲ の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
オリエン 課題解説 ソルフェージュ	ソナタ形式について理解し、演奏に生かすことができる 簡単な4声体が聴音できる	意欲・関心・態度 実技 ワーク	2
ソルフェージュ 楽典 音程 ミュージカル	簡単な4声体が聴音できる 音程について理解し、正確に答えることができる ミュージカルの特徴を理解し、表現することができる	意欲・関心・態度 実技 ワーク	2

4
月

	指導内容	科目 音楽 I の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
5 月	ソルフェージュ 楽典 音程 ミュージカル	簡単な4声体が聴音できる 音程について理解し、正確に答えることができる ミュージカルの特徴を理解し、表現することができる	意欲・関心・態度 実技 ワーク	2
	楽典 音階 現代音楽「PCを使った作曲」	長（短）音階とその調号について、正確に答えることができる PCの特性を活かした作曲ができる	意欲・関心・態度 ワーク	6

	指導内容	科目 音楽 I の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
6 月	現代音楽「PCを使った作曲」	PCの特性を活かした作曲ができる	作品	2
	オペラ	オペラの在り方、歴史を知る	鑑賞シート	4

	指導内容	科目 音楽 I の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
7 月	弾き歌いをしよう 楽典 コード	ピアノの弾き歌いができる 代表的な三和音・四和音を理解する	意欲・関心・態度 実技	4

	指導内容	科目 音楽 I の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
8 月				

	指導内容	科目 音楽 I の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9 月	弾き歌いをしよう イタリア音楽	ピアノの弾き歌いができる イタリア音楽の特徴を理解し、表現できる	意欲・関心・態度 実技	6

	指導内容	科目 音楽 I の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
月	にほんのうた「浜辺の歌」 楽典 和声進行	日本の唱歌の良さを味わい、表現できる 和声進行について理解し、カデンツを使った簡単な作曲ができる	意欲・関心・態度 実技 ワーク	4
	公開演奏会	演奏会開催に必要な流れを理解し、実践できる 演奏会に向けて作曲する	意欲・関心・態度 実技 ワーク	2

	指導内容	科目 音楽 I の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
月	公開演奏会	演奏会開催に必要な流れを理解し、実践できる 演奏会に向けて作曲する	意欲・関心・態度 実技 ワーク	8

	指導内容	科目 音楽 I の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
月	公開演奏会	演奏会開催に必要な流れを理解し、実践できる 演奏会に向けて作曲する	意欲・関心・態度 実技 ワーク	4
	公開演奏会	演奏会を開催する 作曲した曲を発表する	意欲・関心・態度 実技 作品	2

1月	指導内容	科目 音楽 I の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数

	指導内容	科目 音楽 I の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
2 月				

	指導内容	科目 音楽 I の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
3 月				

年間授業計画様式例

都立翔陽高等学校令和5年度 教科:芸術 科目:国際理解 年間授業計画

教 科 : 芸術科 目 : 国際理解 単位数 : 2単位

教科 : (芸術) 科目 : (国際理解) 対象 : (第3学年選択)

使用教科書 : ()

使用教材 : ()

指導内容	科目○○の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数	
4 月	オリエン 「好きな国について」	授業のルールを知る 「自分の好きな外国の紹介」を行う上でのテーマを決め、プレゼンの流れを作る	観察、ワーク	2
	発表準備	「自分の好きな外国の紹介」についてプレゼンの準備をする	観察、ワーク	4

	指導内容	科目○○の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
5 月	発表	「自分の好きな外国の紹介」についてプレゼンする	プレゼン、レポート	2
	世界遺産	様々な世界遺産について知り、世界への影響について考える	観察、ワーク	2

	指導内容	科目○○の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
6 月	食事のマナー お風呂と香水	和食・フレンチ・イタリアン・中華について、概要を知るとともに、マナーを知る お風呂や香水について、歴史的背景とその役割を学ぶ	観察、ワーク	2
	早口言葉 世界の不思議	各国における早口言葉から言語について知る 世界中の様々な不思議な現象や建造物を知る	観察、ワーク	4
	地形にあった住まい 人の名前	地形や気候に適した家屋や外観を意識した建造物について知る 人名による各国の特徴を知る	観察、ワーク	2
	討論『日本人の海外進出の是非』	日本人が海外進出することのメリット・デメリットを考え、国際社会で活躍するために 必要なことについて論じる	観察、レポート	2

	指導内容	科目○○の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
7 月				

	指導内容	科目○○の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
8 月				

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9 月	国際問題	様々な国際問題を知り、その中から1つの問題に対して解決策を提示する 自ら提示した解決策に対し、様々な視点から考察し、論ずる	観察、レポート	8

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10 月	ディベート『戦争の是非』	戦争・抗争によって発展してきた社会の歴史的背景を学び、歴史の中での戦争についての是非をディベートする	観察、レポート	2
	世界の時事問題	現代の世界の時事問題について知る	観察、ワーク	6

	指導内容	科目○○の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
11 月	世界の常識	現代社会の世界標準を知り、日本との乖離について学ぶ	観察、ワーク	4
	国技 世界の遊び	各国の国技や遊びについて、その文化について知る	観察、ワーク	2

	指導内容	科目○○の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配 当 時 数
12 月	振り返り	1年間を振り返り、まとめの発表を行う	レポート	2

1月	指導内容	科目○○の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数

2月	指導内容	科目○○の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数

3月	指導内容	科目○○の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数